

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2009-2010

地区方針 「歴史に学び変革と進歩を」  
IMテーマ 「縁づくり」

## CONTENTS

1. RI会長メッセージ	1
2. ガバナー挨拶	2~5
3. 国際大会（思い出多き 2004 年大阪国際大会）に思う	6~7
4. 3月の寄付金傾向	8
5. 新入会員紹介	9
6. 訃報	10
7. ポールハリスフェロー・米山功労者(3月分)	11
8. 「ロータリーの友」地区だより	12~13
9. ハイライトよねやま	14
10. ロータリー文庫通信	15
11. 「友」インターネット速報	16
12. 出席報告（2010年3月）	17
13. 5月の行事予定	18



RI会長  
ジョン・ケニー  
(スコットランド)



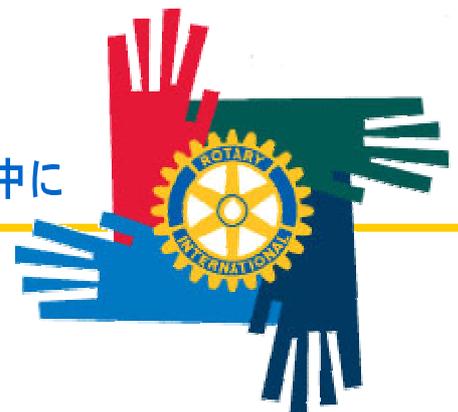
2640 地区ガバナー  
村上 有司  
(田辺RC)

NO.11  
**5**

ロータリーの未来はあなたの手の中に

国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F  
TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643  
E-mail: info@rid2640g.org  
URL: <http://www.rid2640g.org/murakami/>



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS



## 被災者に希望をもたらす

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、1月に大地震がハイチを襲った後、ロータリアンたちは彼らがどのようにして支援を行うことができるかについて、電話やEメールで議論を始めました。国際ロータリーがロータリーの緊急支援について報じると、ロータリアンたちはこの議論をオンライン上で始めました。当初のコメントを見れば、多くのロータリアンたちがどのようなことを考えていたかがわかります。「ロータリアンたちを何らかの援助に送り始めるとしたら、私にお手伝いできることがあるかどうか、ぜひお知らせください」

## 世界各地から、そして地元でも

ロータリーのウェブサイトや私たちの公式メディアでのこのような申し込みは、日を追って増えていきました。ロータリアンたちはシェルターボックスやアクアボックスへの資金として何千ドルも集めたり、ロータリー・ハイチ大地震救済基金に寄付したり、荒廃した国への食糧や支給品の輸送、医療従事者を派遣する手段を組織したと報告しました。

ハイチとその周辺ではロータリアンたちも大忙しでした。地元ロータリアンたちは、取り残された家のない人々にシェルター・ボックスを配る手助けをしました。ロータリアンで内科医のクラウド・スレナ氏は、自宅が損害を受けていたにもかかわらず、それを臨時の病院にして100人もの地震で負傷した人を受け入れました。

第7020地区（ハイチを含むカリブ海の島々）は飛行機に医療用品を積んで飛び回っていましたが、救済基金を設立し、震災後の数週間、支援のための戦略を練りました。

## 報道関係者が立ち去った後もロータリアンは……

そして、この数週間で、そして数か月あるいは何年にもわたってでさえ、ロータリーは最大の貢献を成し遂げました。ロータリーは災害救済機関ではありません。しかし、私たちは長期にわたる復興を得意としています。報道関係の関心がなくなった後も、ロータリーはそこにいます。ハイチの事例では、17の地元クラブとそれらを助けようとする何千ものクラブがあります。もし、バングラディッシュ、ホンデュラス、インドネシア、そのほか、数え切れないほどの国々での復興活動を例に考えるならば、人々の関心が消え去り、メディアが立ち去った後も、ロータリアンたちはハイチにいるでしょう。

## 震災前より良いものを生み出す

今月号の「Global Outlook」をご覧になれば、多くの国々、震災後の復興を援助した国々、地域で、失われたものを元に戻すだけでなく、それと同様、より良いものを生み出したロータリーの成功例を知ることができます。

窮地に立たされた人々への援助するロータリアンたちの情熱は、私たちの粘り強さと草の根的存在とあいまって、震災のために引き裂かれたこれらの人々の暮らしに希望をもたらし続けるでしょう。

ハイチでの悲劇に対する私たちの対応で、こうした恵まれない人々に対するロータリーとしての関心事と願いが明らかになり、ロータリーが最善を尽くすこと、すなわち奉仕を行うことを証明しました。

## ガバナー挨拶（地区大会報告）



ガバナー 村上 有 司

- 1、当地区の2009～2010年度の地区大会は、橋本譲R I会長代理（第2690地区）御夫妻をお迎えして、4月17～19日、世界遺産“高野・熊野参詣道”の入口“白浜・田辺”で開かれました。地区大会は、地区及びガバナーにとって、年度最大のイベントであります。ホストクラブ田辺RCとコホストクラブ田辺東RC・田辺はまゆうRC・白浜RCの四クラブの応援を得て、一年半をかけ企画・準備を続けてきました。今年度は、“手づくり”・“全員参加”・“地域密着”をコンセプトに、泥臭くても良い楽しんでいただける地区大会を目指してきました。
- 2、地区大会の前日迄大雨が降り、大会期間中の天候を心配しましたが、初日から嘘のように晴れ上り、五月晴の心地良い空気の中で3日間の大会が進行出来ました。  
“蟻の熊野詣”といわれた紀州路へ地区内外から多くのロータリアンとファミリーを迎えて、今年度地区大会のテーマ、『幽玄の地で！！ 語ろうロータリー つくろう友の輪』を実践することが出来ました。会員数を減少させ、進路哲学に不協和が聞こえるロータリーは、今曲がり角に立っています。今こそロータリアンが肩を組み合って、新しい道筋を模索する必要があります。何故ならば、ロータリーは永遠に不滅でなければならないからです。
- 3、第1日目は、白浜（コガノイ・ベイホテル）で、午後1時から“クラブ会長・幹事会”が開かれ、各クラブのリーダーがロータリーの現状について熱心に研鑽しました。

私から地区の現況を報告し、R Iの今年度テーマ“ロータリーの未来はあなたの手の中に”を再確認し、原点回帰して活性化に努めるようお願いをしました。

橋本R I会長代理は、45分間に亘り、ロータリーの歴史や本質について詳細説明され、「ロータリーにおいては、実践することこそ大切である」と指摘され、ポリオワクチン投与に関する自らの体験談を感動的に語られました。



引き続き、“地区指導者養成セミナー”があり、米山学友の金美林さんを上海より呼び戻し、米山奨学生時代のお礼と活動の現状について話をしてもらいました。当地区としては、米山奨学会の“ホームカミング”制度を初めて利用させてもらいましたが、たいへん有益な報告でした。

次に、元財団奨学生田中京子さんが、「田辺RCから4年前、イギリスに留学生として派遣していただきました。ロータリーの偉大さを、異国で知ることが出来ました」と話をしてくれました。



又、第7150地区（米国）から、現在訪問中のGSEメンバー5人（パメラ団長）が、壇上からあいさつされ万雷の拍手を受けました。

午後6時から、同ホテル内で“橋本会長代理晩餐会”が開かれました。成川守彦パストガバナー御夫妻のエードで、参加者の拍手歓迎の中、会長代理御夫妻が入場されました。備長炭で出来た“タンキン”のきれいな音色と前田佳世さん（元財団奨学生）の歌声で、会場は盛り上がりました。途中出演してくれた地元獅子舞も、参会者に好評でした。



近藤R I 理事エレクトのスパイスのきいたトークの後、中島パストガバナーの乾杯で宴が始まりました。昼間と違い肩の力を抜いて、盃をかたむけて“縁づくり”が進みました。

4、第2日目は、田辺（紀南文化会館）に移動して、本会議が開催されました。遠路にかかわらず、1300人近いロータリアン及びファミリーが早朝から参加してくれました。仁坂和歌山県知事・真砂田辺市長・近藤R I 理事エレクト・多数の同期ガバナー・地区内外のパストガバナー等来賓多数の御出席を得て、本会議の開式時には、会場は最高潮に達しました。

私から、「ロータリーは、職業奉仕と社会奉仕を二輪として進む、世界最大の民間奉仕団体である。小さなロータリーバッチであるけれど、大きな信用と重たい責任がある。充分自覚して行動してほしい」とガバナーあいさつをしました。

知事・市長らの祝辞があり、その後私を含めた三者で、地区大会記念事業“ロータリー熊野の森”の協定書を交換しました。この事業は、熊野古道に近い田辺市中辺路町大川地内の山林1.3ヘクタールに、ウバメガシ・ナラ・ブナ等の広葉樹3300本を植栽するものです。CO2削減・水源確保・山林労務者の雇用促進というグローバルな事業であります。



次いで、橋本R I 会長代理から、「ロータリー財団の歴史と2013年から始まるロータリー財団の夢計画」について説明がありました。

昼食をはさんで、地元の人々による熊野伝承の寸劇が熱演されました。遠来の人々に、熊野を知ってもらう手がかりになったと思います。

午後2時から、メイン講演二題がありました。第1部は、海洋研究開発機構の平朝彦氏の「未踏の地球内部を掘るー地球深部探査船『ちきゅう』の挑戦」でした。科学的データを駆使して、深海底の謎を語ってくれました。当地区は、不幸にも「東海・東南海・南海」地震のベルトライン上にあります。ロータリーの社会奉仕は、「地域のニーズに応えることが大切である」との見地からすれば、地震・津波問題こそ我地区の最大関心事であります。本年度地区社会奉仕活動のテーマとして、この問題を取り上げるよう提示してきました。この講演はその集大成として企画しましたが、たいへん好評でした。

第2部は、東大名誉教授月尾嘉男氏の「足元の宝物で地域再生を」の講演でした。豊富な体験と資料を使いながら分かりやすく解説される月尾節は、多くの会員に対し、明日からの職業活動の方向性を教授してくれたと思います。

各種表彰がありました。出来るだけ多くの人々に感謝状や表彰状を差し上げたいと思いましたが、物理的限界があります。表彰者以外にも、日々すばらしい活動をされている人々を私は知っています。

米田眞理子ガバナーエレクト・林寛吉ガバナーノミニーに登場してもらいました。米田エレクトは、既に次年度に向けて着々と準備を進められています。たいへん積極的な方で、日本で二人目の女性ガバナーとして期待しています。スポンサークラブの“堺フェニックスRC”は、歴史は新しいがまとまりと企画力にはすばらしいものがあります。両者相まって、すば

らしい年度にしてほしいものです。

林ガバナーノミネーは、選出間がなくノミネーの期間も少なく気の毒に思いますが、これから必死に努力してほしいと思います。彼も意欲と行動力は旺盛ですので、すばらしいガバナーに成長してくれると思います。本会議終盤、早期退場者が多く出るのは誠に残念です。もっとロータリースピリットを思い起し、せめてこの日一日位最後迄残る余裕をもってほしいと思いました。しかし、会場に残った人々と、“手に手つないで”を大合唱した時には、ロータリアンである喜びがこみあげてきました。

午後6時30分から、ホテル東急ハーヴェストに会場を変えて、“会長代理を囲む夕食会”を開きました。最初の計画にはなかったのですが、橋本会長代理がもう一泊してくれることになり急遽設営しました。“晩餐会”とは違い、一般会員70人程が参加して気楽な夕食会が出来ました。

- 5、第3日目は、熊野三山の一つ本宮大社へ参拝して、“幽玄の地”を実体験してもらいました。橋本会長代理御夫妻も、お疲れの色をみせず同道してくれました。昨年完成した熊野本宮館は、地元龍神材をふんだんに使った資料館で、今でも木の香が満喫出来ました。本宮大社では、神社の特別なはからいで正式参拝が許されました。参加者は、熊野古道を散策したり、語りべの説明を聞いて、熊野のよさを堪能出来たと喜んでくれていました。



## 国際大会(思い出多き2004年大阪国際大会)に思う



パストガバナー 前田 孝道

ロータリー国際大会とは「ロータリー家族の世界的大会である」と手続要覧にあります。会員が家族と共に、この大会に参加することによって、身をもってロータリーの豊かな国際性と専門職業人としての幅広い奉仕活動を実感し、ロータリーの一員であることに大いなる誇りと喜びを感じずる社交と親睦の場であると言うことができます。

わが国で開催された過去2回の国際大会はいずれも東京(1961年5/28～6/1 参加23,366名 第2回目は1978年5/14～18 参加39,834名)で、第3回目に当たる「国際ロータリー2004年国際大会『RIとしては99回目 2004年5/23(日)～26日(水)』は、大阪では初めての大会で、4万6千人が参加。

この大会は2650・2680・2660・2640地区がホストで、千玄室さんを大会委員長に、実行委員会(委員長は近藤雅臣氏、事務総長吉川謹司氏)を中核として多くの委員会があり、役員数は数百人に及んでいました。私は2640地区からは唯一の実行委員会委員の一人として、この稀有なる大会に参画させていただいたことを、今も大切に思っています。これは私のガバナー年度が2001年度～2002年度であり、大阪国際大会の準備が2003年にスタートしたので、このイベントに最も近い地区パストガバナーとして、私が実行委員の一人に選ばれたものと思っています。

大阪国際大会実行委員会事務局は、大阪市のほぼ真ん中、大阪市中央区久太郎町にありまして、初めのころは準備委員会が月一回くらいでしたが、近づくにつれ次第に準備委員会開催の頻度が日を追って高まり、しかも会合ごとに受け取る配布資料もどんどん増えて、いつしか自分の背よりも高く積み上げられる程膨大なものになっていました。

大会のプログラムの作成、百を超える国々からの出席者の名簿、国内外からの来賓ならびに出席者の受入準備(船舶・航空機による入国)出席会員に対する役員の配置、宿舎の送迎、乗り物の手配、宿舎は大阪を中心に京都・和歌山・奈良等、近隣の都市数箇所に及びました。会場移動

の案内、荷物の管理・会員の質疑への応答・万一に備えて医療施設の設備ならびに医師等看護人員の配置、不測の事態に備えての警備等々何しろ海外からの言葉の異なるお客様を含む巨大イベントに、わずかな遺漏も許されません。各委員会もそれぞれ会合を重ね、準備は徹底して積み上げられてゆきました。

いよいよ開幕となるや、世界各国々内外から4万6千人が集まり、大阪ドーム、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルを主会場にしての、各種のイベントのみならず22日の京都デー・24日夕方の道頓堀ナイトその他の各所で、様々な催しに参加され、友愛の家では地方に伝わる各種の伝統芸能、歌舞、音曲等の催しに情趣を楽しみ、お土産ショッピングを満喫して、それぞれ忘れえぬ思い出を胸に、大成功裏に大阪国際大会の巨大イベントは終了しました。

期間中これといった大きな事故もなく、また4万6千人という参加数も史上最多でこの記録は破られていません。

私は最終日の閉会式に、大阪ドームの紙ふぶき舞いしきる中に、促されステージに上がり、大会委員長他、多くの役員の皆さんを始め、満場のロータリアンと共に「手にてつないで」を歌ったあの大いなる感動を今も忘れることが出来ません。

いつの大会でも、国際大会にはその国により、それぞれ興味深い趣があります。できるだけこれからも大会には参加したいものです。



# 3月の寄付金傾向



3月分合計額 62,439,206円 (前年同期比 13.34%減)  
 累計額 1,126,680,139円 ( " 173百万円減)

参考 前年度3月分合計額 : 65,038,942円、累計額 : 1,300,112,841円

## 普通寄付金

3月当月 7,480,680円  
 3月末累計 408,467,220円  
 (前年度比 1.90%減)  
 ( " 8百万円減)  
 (予算達成率 94.6%)

普通寄付金下期分は、2,216クラブ(96%)から納入されました。なお、上下期ともご送金されていないクラブは49クラブあります。是非とも当会の事業内容をご理解の上、ご送金くださるよう地区からもご連絡をよろしくお願い申し上げます。

### ★普通寄付金納入状況・下期分 (納入数/クラブ数)

地区	納入数/クラブ数	納入割合	地区	納入数/クラブ数	納入割合
2500	63/66	95%	2610	63/66	95%
2510	67/73	92%	2620	78/80	98%
2520	76/84	90%	2630	完納	100%
2530	66/67	99%	2750	完納	100%
2540	39/42	93%	2760	完納	100%
2550	48/50	96%	2780	完納	100%
2560	55/57	96%	2640	70/72	97%
2570	完納	100%	2650	92/96	96%
2770	77/81	95%	2660	83/85	98%
2790	82/83	99%	2670	72/74	97%
2800	51/53	96%	2680	完納	100%
2820	56/60	93%	2690	66/67	99%
2830	36/40	90%	2700	58/59	98%
2840	45/47	96%	2710	完納	100%
2580	68/70	97%	2720	64/76	84%
2590	完納	100%	2730	55/64	86%
2600	54/57	95%	2740	56/57	98%

合計：納入数 2,216RC

地区ロータリークラブ数 2,302RC

普通寄付納入実績 3月31日現在、当会入金分

## 特別寄付金

3月当月 54,958,526円  
 3月末累計 718,212,919円  
 (前年度比 18.73%減)  
 ( " 166百万円減)  
 (予算達成率 70.6%)

3月末累計額も前年同期比約1億6千万円の減少とより一層厳しい状態です。今年度残り3カ月の寄付収入は主に特別寄付となります。引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

### ☆ 創立記念寄付クラブ (単位:万円)

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2570	富士見	10	2820	筑西きぬ	10
	飯能	10	2590	川崎稲生	10
2770	岩槻中央	10	2600	岡谷エコー	20
	浦和東	40	2610	野々市	20
2790	船橋南	30	2750	市川大門	10
	富津	30		東京立川	30
	柏南	10		東京たまたがわ	10
合計		14クラブ			250

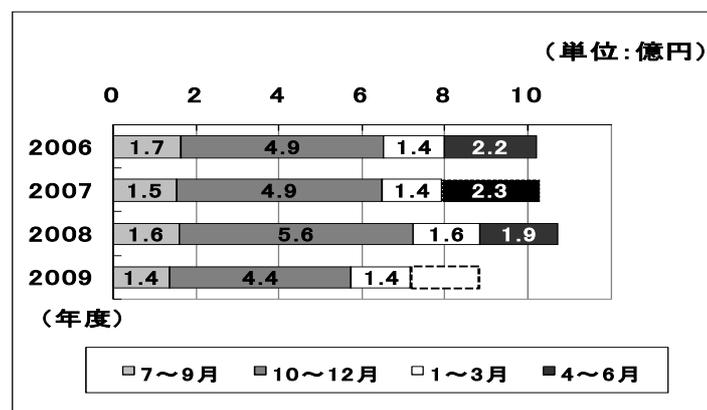
### ☆ 地区大会

D2580 100万円 D2750 30万円

D2690 10万円 (チャリティゴルフ)

### ☆ 四半期別 特別寄付金グラフ 2006~2009年度

このグラフは、四半期別の特別寄付金収入を示したものです。例年、1~3月よりも4~6月にご寄付が多くなります。



# 新入会員紹介

新しい友達が増えました  
手に手つないで"友の輪"を！！

## 3 月

 <p>まつお みつる <b>松生 満</b> 所属クラブ：和泉RC 職業分類：不動産賃貸 生年月日：1948年5月27日</p>	 <p>なかもと のぶよし <b>中本 展由</b> 所属クラブ：串本RC 職業分類：斎場経営 生年月日：1949年8月27日</p>
 <p>もりした みゆき <b>森下 ミユキ</b> 所属クラブ：大阪狭山RC 職業分類：NPO 団体理事 生年月日：1942年12月23日</p>	 <p>みと がい <b>水戸 凱</b> 所属クラブ：堺おおいずみRC 職業分類：獣医業 生年月日：1955年8月5日</p>
 <p><b>倉谷 敏信</b> 所属クラブ：新宮RC 職業分類：建築 生年月日：1950年1月18日</p>	 <p>なす としお <b>那須 敏夫</b> 所属クラブ：田辺RC 職業分類：森林組合 生年月日：1950年4月21日</p>
 <p>てらまえ のりひこ <b>寺前 則彦</b> 所属クラブ：田辺RC 職業分類：建築設計 生年月日：1952年2月23日</p>	 <p>か と けいたろう <b>家戸 敬太郎</b> 所属クラブ：田辺はまゆうRC 職業分類：大学准教授 生年月日：1967年12月20日</p>
 <p>さかのした かずひろ <b>坂ノ下 和弘</b> 所属クラブ：田辺はまゆうRC 職業分類：眼科（医） 生年月日：1966年6月29日</p>	 <p>ありもと ゆうこ <b>有本 祐子</b> 所属クラブ：田辺はまゆうRC 職業分類：管工事業 生年月日：1956年7月15日</p>

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



に だ こ  
**新居田アツ子様** (羽衣RC)

2010年3月14日死去

在籍期間：H12年7月～H22年3月

職業分類：不動産管理

ポールハリスフェロー：PHF

米山功労者：第1回米山功労者

生年月日：1942年(昭和17年)7月30日





**Paul Harris Fellow**

## PHF・ベネファクター（3月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
納谷 誠治	2	羽衣	湯川 英男	1	松原
竹田 博	1	羽衣	堀本 欣吾		美原
高岩 弘至	1	羽衣	濱口 正義	大口	堺西
阿形 武雄	2	阪南	有本 隆行	3	和歌山東南
土井 浩	3	阪南	早田 充宏	1	和歌山東南
福森 繁	3	阪南	市川 正夫	2	和歌山東南
村田 昭夫	3	阪南	奥村 智子	1	和歌山東南
砂本 四朗	3	阪南	竹中 昭美	2	和歌山東南
上野 賢二	2	阪南	竹中 昭美	BE	和歌山東南
原 一男	4	岸和田北	吉田 遼	1	和歌山東南
廣谷 静一郎	4	岸和田北	山田 剛弘	1	和歌山東南
井上 隆彦	BE	松原			



## 米山功労者（3月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
井上 隆彦	4	松原	濱口 正義	32	堺西
永富 久紀	3	美原			



# 第11回「ロータリーの友」地区だより(5月号)

5月が近くなるとかなり暖かくなって来ましたが、今年は寒暖の差がはげしく、最近まで寒い日が続く事がありました。そうした合間を縫って、当地田辺・白浜で4月17日～19日まで地区大会を開催致しました。幸い天気もよく、ホストの田辺ロータリークラブとしては全力を尽くして皆様をお迎えしたつもりでしたが、皆様御満足頂けましたでしょうか？

5月には地区協議会もあり、米田年度の足音が聞こえて参ります。御健闘をお祈り致します。



## 是非お目通し頂きたい記事

☆ 横組

○RI会長メッセージ…………… 1頁

「被災者に希望をもたらす」というテーマで、ハイチをこの1月襲った大地震におけるロータリアンの災害援助を取り上げながらロータリーが最善を尽くす事、奉仕を行なうことの大切さを説いています。

○特集 災害救助 そのとき、ロータリーは…………… 5～13頁

“台風「オンдой」来襲のフィリピンを救え”では「いわしの缶詰」12,000個分被災した人たちに分けた話。“サイクロン被災地のこどもたちのために”では中学校再建の話。“被災地となった地元を支援”では兵庫西・北部水害の義援金の有効利用が語られています。“台湾の山間水害に対するロータリーの活動報告”では仮設住宅を建設し、被災者の生活基盤を整備した話。“ハイチ大地震救助募金に感謝と報告”ではインターアクトとロータリアン合同の街頭募金の盛り上がりを記しています。

○海外に手を差し伸べる…………… 14～19頁

“ミクロネシアの島々へ水支援” “タンザニアにおける乳幼児死亡率の低下を願って” “顔の見える奉仕を第31回バギオ訪問交流の旅” この3つの記事はいずれもきれいな写真とともに海外での奉仕活動の状況を説明してあります。今後の海外での活動の参考になるのではないかと思います。

○視点 ガバナーのページ…………… 20～24頁

先日、当2640地区地区大会に遠路おいで頂いた2660地区の大谷透ガバナー（大阪西南RC）2680地区の中村尚義ガバナー（洲本RC）2720地区の山崎勝ガバナー（熊本東RC）が夫々の地区を紹介し自分の考えを吐露しています。

○グローバル・アウトルックー災害に見舞われたとき…………… 33～38頁

緊急援助と長期復興支援のすき間を埋めるロータリーの活動を報告してあります。地域社会を基盤とするロータリーの活動は継続的な復興活動の担い手となり、長期的かつ地域のニーズに合った支援は住民を再び立ち上がらせる大きな力となっています。ポンシュラスのハリケーン「ミッチ」・ハイチの大地震・バングラデシュのサイクロン「シドル」・アメリカ・カンザス州の「竜巻」・インドネシアでの「津波」におけるロータリアンの活動による復興の成果を述べています。

☆ 縦組

○人づくりはモノづくり 東大阪宇宙協同組合 理事長 吉田 則之…………… 2～6 頁

当 2640 地区 I M 第 4 組での基調講演のスピーチです。「まいど 1 号」が 2009 年 1 月 23 日打ち上げられるに至るまでの困難を東大阪の中小企業の集まりである東大阪宇宙開発協同組合（S O H L A）が見事に克服した話です。産学協同で得た雷センサー・太陽センサーの話、J A X A との協力、低コストで人工衛星を作り得た話は東大阪の中小企業のエネルギー・気概を感じさせます。

○手に手 くらぶ探訪…………… 7～11 頁

サハリンを望む「風の町」の稚内ロータリークラブ

「自然エネルギーの町、稚内」は漁業の町から変貌しようとしています。風力発電・太陽光発電で日本最大級の施設があるそうです。又、サハリンに最も近い土地という事で、ユジノサハリンスク（旧豊原）R C との交流、カニ運搬のロシア船員のお客さん、ロシアとの貿易等日本最北端の地だけあって特徴のある面白いクラブ紹介でした。

○卓話の泉…………… 12～13 頁

事務機の歴史 和歌山東南 R C 稲葉 敏彦

我々の身近にある事務機、謄写版（ガリ版）の登場からはじまり、現在のカラーコピーに至るまでの発展の歴史を綴っています。

○俳壇…………… 14～15 頁

「紅椿 <small>あられ</small> 霰を抱きしまゝ落ちぬ」	大阪・堺	堤 淳
「太き薪燃ゆるかまどや法然忌」	和歌山・御坊	橋本 順子

○柳壇…………… 14～15 頁

「新入りの風が職場に刺激的」	和歌山・新宮	塩崎 公治
「古伊万里で一人寂しい夕餉です」	大阪・堺	大澤 徳平
「山一つ買いたい程にみかん好き」	大阪・堺	清水 亜稀美

○友愛の広場…………… 16～20 頁

長崎と英語 長崎東 三浦 達美

長崎に英語がどの様に普及して来たか、そして社会発展にどの様に貢献してきたか又、現在の長崎東 R C の事業とのつながりを報告しています。

海外の例会で感じたこと 千厩 佐藤 晋作

ドイツ・フライブルク・ツェーリングゲン R C 訪問記です。海外の例会の様子が詳しく書かれていますが、日本の例会との違い、大変興味深く読ませて頂きました。

「ロータリーの友」地区委員 廣本喜亮(田辺 R C)  
E-mail: hiromoto1026@ybb.ne.jp  
TEL: 0739-22-0571 FAX: 0739-26-7307



1952 年 7 月、日本のロータリーが 2 地区に分割されました。分割後も、お互いのことを知ってほしいという思いがあり、両地区に共通の雑誌の発行が決まりました。創刊号は横組みでした。

ロータリーの友事務所  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階  
TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956  
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

# ハイライトよねやま 122号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース



## 今月のトピックス

2010年4月13日発行

1. 寄付金速報 — 2009-10 年度も残り3カ月を切りました —
2. 新奨学生のオリエンテーションがスタート
3. 米山奨学生・学友の博士号取得状況
4. 新世代の学友が力を合わせて社会奉仕 【第2590 地区】
5. チューク出身の奨学生が母国のロータリアンらと交流

### お知らせ

#### 奨学生・カウンセラー必携ハンドブック

【奨学生ハンドブック】新規奨学生には合格通知と一緒に大学経由で、継続奨学生には世話クラブへ3月末送付済みです。奨学生としての心得のほか、帰国届や奨学生レポートなど届出書類が付いています。

【カウンセラーハンドブック】初めてカウンセラーをされる方も、すでに経験されている方も必ずお読みください。カウンセラーの体験談や困ったときのQ&Aが満載です。クラブへ送付済みです。



たくさんのお申し込みありがとうございました  
— 中国学友会総会・懇親会 in 上海 —



ハイライトよねやま 119・120号でご案内していた、7月17日に上海で開催される中国学友会総会・懇親会は、お陰さまで200人を超えるロータリアンからお申し込みをいただきました。ありがとうございました。なお、米山奨学会のツアー参加者の皆さまには4月中に旅行のご案内をお送りいたします。



「ハイライトよねやま」は、毎月1回発行しているロータリー米山記念奨学会のニュースレターです。

# 文庫通信 (272号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ロータリー情報

- ◎ロータリー財団未来の夢計画 田中作次 第38回ロータリー研究会報告書  
2010 3P
- ◎RI5カ年財政計画 黒田正宏 第38回ロータリー研究会報告書 2010 4P
- ◎よきロータリアン 指導者としてのロータリアン 渡辺好政 D.2710 月信  
2010 14P
- ◎今 ロータリーが忘れていた事 森三郎 関西ロータリー研究会  
第55回例会記録 [1999] 16P
- ◎ロータリーの魅力と職業奉仕について 成川守彦 D.2770 職業奉仕研修会  
2010 43P
- ◎私にとってのロータリーの楽しみ方(パネルディスカッション)  
岩本忠(コーディネーター) D.2630 地区大会 2009 10P
- ◎ロータリー簡単図解 <年表とロータリーの考えの変遷その1~3>  
鈴木章夫 D.2520 月信 2009 3P
- ◎各クラブが行っている活性化アイデア一覧 D.2720 D.2720 月信 2010 4P

## ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時

休館=土・日・祝祭日



# ■ 国際ロータリーニュース

## 審議会の本日のハイライト

国際ロータリー・ニュース：2010年4月28日

規定審議会の代表議員は水曜日、自然災害の影響を受けた地域で迅速に短期的な救援活動を行うための世界的なリソースを取りまとめる委員会の設置をRI理事会に要請しました。

「最近、チリとハイチで発生した大地震での経験から、被災者の生活の建て直しにロータリーの支援がいかに重要で緊要であるかがわかる」と訴え、立法案を提示したのは、第9820地区(オーストラリア)のレイモンド T. マーティン氏です。



「近年世界では、大規模で壊滅的な災害が数多く発生しています。ロータリーはそういった災害への対応スピードをいかに上げられるかについて積極的に取り組んでいく必要があります」とマーティン氏。「ロータリーの未来はあなたの手の中にあります。そして被災者の未来もあなたの手の中にあります。迅速な対応がカギとなるのです」

この立法案は盛大な拍手が沸き起こり、賛成 361 票、反対 148 票で可決されました。

ロータリアンが運営する災害救援団体「シェルターボックス」はこれまで、緊急に対応できるリソースの可能性と重要性を実証してきており、RI がこれから幅広く、総合的な体制を確立する上で参考になるはず、と立法案の支持者は話しています。

チリからの代表議員、ルイス・オーティス・スプルベータ氏は、被災後に、シェルターボックスから並々ならぬ支援を受けたと話しました。「ロータリーがシェルターボックスに取って代わる必要はありませんが、こういった活動をさらに補強していけるのではないのでしょうか」

審議会ではこのほかに、次のような案件が審議されました。

審議会は、ローターアクターの年齢制限を 30 歳から 35 歳まで引き上げる決議案を否決しました。同案の支持者の主張は、若い専門職従事者はロータリー・クラブに入会する時間も経済的手段も備えておらず、ローターアクターの年齢制限を引き上げることで、後に会員になる可能性を考え、彼らがロータリー・クラブとの関係を保てるようにすべきだというものでした。これに対する反対意見は、同決議案によってロータリー・クラブの会員数と収入が減る可能性があるというものでした。また、30 歳までには自立して、本人の意思でロータリー・クラブに入会し、会員を払えるようになっているべきだという意見も出ました。

# 第2640地区 出席報告(2010年3月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	3月 出席率	平 均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	3月 出席率	平 均 出席率
	08.7.1	3月末	3月	累計	3月	累計					08.7.1	3月末	3月	累計	3月	累計			
有 田	37	37	0	0	0	0	4	91.67	89.25	大 阪 金 剛	31	28	0	0	0	3	4	88.40	88.50
有 田 南	30	32	0	2	0	0	5	97.86	97.05	大 阪 狭 山	5	5	1	1	0	1	4	100.0	90.13
有 田 2000	14	15	0	2	0	1	3	93.33	90.07	りんくう泉佐野	27	27	0	0	0	0	5	75.78	76.44
藤井寺しゅら	15	15	0	0	0	0	3	93.30	95.50	堺	77	75	0	5	2	7	4	85.42	85.12
御 坊	52	51	0	2	0	3	4	85.12	79.85	堺 東	33	34	0	1	0	0	4	98.39	98.14
御 坊 東	18	15	0	0	2	3	4	85.30	86.07	堺 北 西 南 西	19	19	0	0	0	0	4	84.71	77.47
御 坊 南	26	27	0	3	0	2	4	86.54	87.47	堺 泉 ケ 丘	21	21	0	0	0	0	4	94.05	96.08
羽 曳 野	26	15	0	3	5	14	5	96.68	82.28	堺 北	31	31	0	2	0	2	4	87.49	82.49
羽 衣	22	19	0	0	1	3	4	84.80	84.28	堺 南	28	27	0	1	0	2	4	78.41	80.39
阪 南	13	13	0	0	0	0	5	90.79	96.70	堺 中	25	20	0	0	0	5	4	67.10	68.31
橋 本	50	52	0	4	0	2	4	91.11	92.50	堺 西	17	19	0	2	0	0	4	93.75	89.46
橋本紀ノ川	17	17	0	1	0	1	5	88.23	86.47	堺おおいずみ	31	34	1	3	0	0	5	81.96	83.40
岩 出	27	28	0	1	0	0	4	94.65	92.18	堺フェニクス	25	31	0	6	0	0	3	91.00	83.28
和 泉	37	36	1	1	0	2	4	76.15	78.67	堺 清 陵	20	20	0	0	0	0	4	76.32	85.77
和 泉 南	31	27	0	0	0	4	4	63.88	61.94	堺 東 南	12	12	0	0	0	0	4	100.0	99.38
泉 大 津	47	50	0	3	0	0	4	81.25	78.39	泉 南	18	17	0	1	1	2	4	85.94	85.09
泉 佐 野	30	34	0	5	0	1	4	94.83	93.90	新 宮	59	60	1	3	0	2	5	76.67	80.12
海 南	42	42	0	0	0	0	4	73.72	73.30	白 浜	12	14	0	2	0	0	4	100.0	97.64
海 南 東	64	69	0	7	0	2	4	80.44	81.08	忠 岡	12	0	0	0	11	12	4	60.00	50.99
海 南 西	22	22	0	0	0	0	4	84.54	87.00	太 子	11	13	0	2	0	0	5	68.30	76.00
貝 塚	17	17	0	1	0	1	4	100.0	100.0	高 石	26	26	0	1	1	1	4	64.71	73.96
貝塚コスモス	20	20	0	0	0	0	4	94.74	93.13	高 師 浜	18	19	0	1	0	0	3	79.69	82.77
関西国際空港	23	24	0	2	1	1	3	72.00	77.90	田 辺	85	90	2	6	0	1	4	86.26	87.66
河 内 長 野	30	33	0	5	1	2	4	77.80	78.50	田 辺 は ま ゆ う	30	35	3	8	0	3	4	100.0	90.34
河 内 長 野 東	30	28	0	1	0	3	4	92.39	95.45	田 辺 東	48	48	0	3	0	3	5	98.30	92.22
岸 和 田	44	40	0	0	1	4	3	76.70	85.18	富 田 林	32	34	0	2	0	0	4	72.22	76.10
岸 和 田 東	54	55	0	3	1	2	4	90.00	92.11	富 田 林 南	20	19	0	0	0	1	4	83.83	75.57
岸 和 田 北	22	18	0	0	0	4	5	100.0	100.0	和 歌 山	66	71	0	9	0	4	5	85.16	85.37
岸 和 田 南	19	21	0	2	0	0	4	84.53	89.55	和歌山アゼリア	43	44	0	2	0	1	4	80.11	81.26
粉 河	19	22	0	3	0	0	5	96.27	97.49	和 歌 山 東	53	50	0	1	0	4	4	89.00	90.88
高 野 山	23	24	0	1	0	0	3	96.67	96.59	和 歌 山 城 南	39	38	0	1	0	2	4	92.43	92.09
串 本	11	14	1	3	0	0	5	71.43	73.21	和 歌 山 北	45	51	0	7	0	1	4	82.61	81.15
松 原	35	36	0	1	0	0	4	76.09	83.86	和 歌 山 南	89	90	0	4	0	3	4	87.67	86.19
松 原 中	24	22	0	0	0	2	4	78.41	85.15	和 歌 山 中	29	29	0	0	0	0	4	80.68	83.50
美 原	24	25	0	2	1	1	4	85.90	88.60	和 歌 山 西	21	21	0	0	0	0	5	95.00	95.00
那 智 勝 浦	19	21	0	2	0	0	4	60.00	69.72	和 歌 山 東 南	41	46	0	7	0	2	4	83.53	89.50

クラブ	7月1日クラブ会員数				3月末クラブ会員数				3月平均 出席率	入会		退会	
	男性	2100	女性	133	男性	2113	女性	141		3月	累計	3月	累計
71	2233				2254				85.31	10	141	28	120

## 5 月 の 行 事 予 定 表

1日	(土)		
2日	(日)		
3日	(月)		
4日	(火)		
5日	(水)		
6日	(木)		
7日	(金)		
8日	(土)	松原中RC創立 20 周年記念式典	スイスホテル
9日	(日)	2010~2011 年度のための地区協議会	全日空ゲートタワーホテル
10日	(月)		
11日	(火)		
12日	(水)		
13日	(木)		
14日	(金)		
15日	(土)	第 15 回青少年交換研究会	大阪 YMCA 国際文化センター
16日	(日)	↓	↓
17日	(月)		
18日	(火)		
19日	(水)		
20日	(木)		
21日	(金)		
22日	(土)	財団奨学生選考試験	和歌山JAビル
23日	(日)	↓ 2010~11 年度長期派遣学生への第 4 回オリエンテーション(保護者同伴) 2010~11 年度短期派遣学生への第 2 回オリエンテーション(保護者同伴)	↓ 和歌山勤労者センター
24日	(月)		
25日	(火)		
26日	(水)	和歌山西RC創立 35 周年記念式典	ラビーナ和歌山
27日	(木)		
28日	(金)		
29日	(土)		
30日	(日)		
31日	(月)		



### 国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23

サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0

F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/murakami/>

勤 務 時 間 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 ( 土 ・ 日 ・ 祝 日 は 休 み )